

セ ン タ ー
便 り絆
きずな

第203号

発 行 所

社会福祉法人
西 陣 会HP: <https://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451-8971
FAX (075) 451-5700発 行 者: メンセンダイーク マーサ
編集責任: 土 屋 健 弘郵便振替口座
01030-5-23086ホームページでも
ご覧になれます当法人への寄付
金は、課税控除
対象となります
ので、その為の
受領書が必要な
方はお申し出下
さい。

平和につながる食卓

理事長 メンセンダイーク マーサ

西陣会のことをはじめて知ったのは京都に移住してすぐだったと記憶しています。一九八八年、京都YWCAで働くことになり、京都上賀茂教会（当時は伝道所）に通い始めました。深田未来生先生（西陣会元理事長）が牧師でしたので、教会では度々西陣会（当時はセンター）のことが話題になって関わることになったのは、三十年も経って評議員のお誘いをいただいた時からです。同志社大学で社会福祉学科の教員になっ

ていて、卒業生が西陣会の職員として勤務していたり、実習生がお世話になっていたり、様々な繋がりを通して馴染み深さを感じていました。将来理事長になるとは夢にも思いませんでしたが、教会や同志社大学との縁を感じ、また西陣会の職員や役員の志と優しさに心が動かされて、このたび理事長のお役目をお引き受けしました。

八月二十九日に西陣会のKATARIBA食堂に参加しました。満席の会場で来場

者が美味しい食事と会話を楽しみ、笑顔あふれる賑やかな場でした。まさに西陣会が目指している「人をつなぐ温かい場所」を実現していると感じました。「食卓を囲む」ことは人間にとって大切なことなのだとつくづく思います。キリスト教ではイエス・キリストが多くの人々と食卓を囲んだということが重要なテーマとなっています。イエスは当時の厳しい社会規範を超えて女性やこども、障がい者、外国人、その他にも

社会的に弱い立場の人と食事をし、たと聖書に記されています。このような人々と食卓を共にするイエスの生き様、キリスト教に基づく実践の根幹にもなっています。食べものを分かち合うことは、空腹を満たすだけでなく、料理の味を共に楽しみながら、お互いを知り合うきっかけにもなります。日本では「同じ釜の飯」という表現があるように、同じ食卓を囲むことで



昔ながらの宴会場（グループホーム）

相手との共通点に気づき、そこから信頼が生まれるといういたって平和的な営みではないでしょうか。

今、世界各地では他者との違いばかりを強調し、不信感や恐怖を煽るような出来事が目立ちます。このような現実の中、他者との対話と相理解を生み出すような「食卓」や「人をつなぐ温かい場所」を創造する地道な活動が必要です。そういった実践の身近な広がり、平和なコミュニティ、地域、社会、そして世界の実現につながるのだと思います。西陣会もそのような実践の拠点であると感じています。

私は新しい役割を通して

皆さまから西陣会のことについて、そして社会福祉について学ぶことを期待しています。法人の理念の言葉通り、「お互い助け合って共に生きていける社会」を共に目指していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

地域生活支援ニュース

デイセンターふらっと

まわりまわって返ってくるもの

主 近 藤 隆 平

西陣会では、毎年繋がりのある同志社大学や華頂短期大学などの学生が実習にいられています。福祉の現場を見ていただき、障がいのことや、疾病のこと、ご利用者がどのように過ごされ、私たちがどのように支えているのかを学んでいたんでいます。実習の形態は様々で保育実習や社会福祉実習、精神保健福祉援助実習などがあります。

実習にいられた形態によつてゴールが違うように思われるかもしれないですが、若干の違いはあれど、伝えたいことは一緒です。保育実習にいられて、子どもの支援と障がいのある方の支援と切り分けて考えておられる方もいますが、児

童館、保育園、幼稚園、小学校にも障がいのある方が通われています。自分が保育の仕事を選んだとして障がいのある方を支える機会はず訪れます。自分が支えている方の将来を考えた時には社会福祉の知識は必要になるでしょうし、人のライフスタイルに合わせ、学んでいたいたことは活かしてくると思つています。実習を終え、たとえ同じ職場や、福祉に携わる職に就かれなかったとしても学んでいたいたことが、どこかで繋がりが関わる方に返ってくるものがあれば良いなと思つています。先日、上京朝カフェに行かせていただいた時のことですが、以前西陣会に実習に来てい



木陰で休憩（デイセンター）

て私のことを覚えていてくれた学生が声をかけてくれました。実習からの縁で繋がりが、別の場所で福祉のことや、地域のことを同じ目

線で話し語れたことを嬉しく思いました。そういう輪がもつと広がっていけばいいなと思ひ今年も実習生と向き合っています。

西陣会居宅サービス係

ガイヘル研修を通して

副所長 山 本 みちる

酷暑が続く八月、当法人では、知的・精神障がい者ガイドヘルパー養成研修を開催しました。

講座を再開してからのここ二、三年は十名以下のお申込みでしたが、今年は予想を上回るお申込みがあり、定員に達したため数名の方をお断りすることになり、大変心苦しく思っております。

今回は十九歳～七十八歳までの幅広い年齢層の十八名が受講されました。障がいのある方との関わりがある方もない方もおられました。二日間の講義では、皆さんが真剣に耳を傾け、グループワークにも積極的に取り組んでおられました。三日目の演習では、個別に職員に同行して、ご利用者と一緒に出かける場面を間近でみていただきました。マンツーマンでの関わり方や外出の流れ、時間配分、公共交通機関の利用方法など、実際の現場をみることで、具体的にイメージできたという感想を今年も多数いただきました。

受講生の皆さんから、疑問に思ったことや気づいたことをその場で伝えていただけなので、私たちが普段当たり前に行っているご利用者とのコミュニケーションや行動を再確認できる貴重な機会となっています。

人手不足の中での研修の開催には大きな労力を伴いますが、多くの気づきや刺激を得ることができ、その気づきが、ご利用者の皆様

西陣会ホームとなり・きたまち

あの夏の思い出

副所長 赤 尾 幸 雄

二〇二五年六月十三～十四日にかけて念願のグループホーム旅行へ行ってきました！二〇一三年から事業開始し、節目の十周年で旅行を検討するもコロナで断念。その後落ち着いてきた頃には様々に物価高騰の影響が出て躊躇の日々。そんな時に、東邦電気産業

の支援向上につながるよう日々努力してまいります。研修を修了された皆さんが、当方のみならず、ガイドヘルパーとして活躍すること、一人でも多くの方が「行きたい場所に行ける」外出の機会が、実現することを切に願っています。

内を散歩したり、外の芝生で寝転んだりと個別に楽しむことが出来るすばらしい場所でした。手帳提示で無料だし（笑）。

今回の旅行の大きな目的は宴会と大浴場と設定しており、ホテルは昔ながらの広々とした宴会場で第三者を気にすることなく、たくさん料理を楽しましました。お風呂では内湯に外湯にサウナまであり、男性陣皆が外湯に浸っている場面は何とも大家族というか微笑ましい光景でした。

当日朝から入居者十名、職員八名の大所帯で点呼は完了！天気は良好！向かう先は福井・石川方面へ！車へ乗り込むと皆さんウキウキの様子で音楽かけカラオケタイムへ突入。サービスエリアで昼食を摂り、福井県恐竜博物館へ。模型や文字やたくさんの手すりに興味のある方は室内でゆっくり過ごせ、なかなか興味を見出せない方は涼しい室内を散歩したり、外の芝生で寝転んだりと個別に楽しむことが出来るすばらしい場所でした。手帳提示で無料だし（笑）。

二日目は車移動し石川県へ。二十一世紀美術館を中心に兼六園や金沢城付近をのんびりと散歩し、昼食や喫茶タイム。そして入居者Aは美術館前にて父の兄夫婦と偶然出会うという出来事が発生。兄夫婦は四国、我々は京都、石川県への旅行はお互い知らずに十数年振りの出会い。それも、カラー・アクティヴィティ、

ハウスという展示物の中なんて奇跡的過ぎる。入居者Aは発語なくコミュニケーションに難しさがある方ですが、しっかりと認識

して手と手を合わせられている姿は職員皆ジンと感動的でした。旅行へ行って本当に良かったと思える場面の一つです。



恐竜博物館へ（グループホーム）

支援センター「きらリンク」

実習生を迎えて

相談員 小野 紀代子

きらリンクでは、九月一日から九日間、同志社大学からの現場実習生をお迎えしました。現場実習としてまとまった期間、学生さんを受け入れるのはきらリンクでは初めてのことです。

私自身も指導者資格は所持しながらも、以前の職場で指導にあたってから十年以上経過しており、緊張しながら受け入れの準備をしました。

実習指導の計画には、地域で暮らす利用者に届ける相談支援の理念や現状、および基幹型障害者地域生活支援センターの機能を知ってもらえるような内容を盛り込みました。

実習が順調に進む中、大学の先生・実習生との三者面談を持ちました。その際、突然思い出したのは、前職での指導内容の不熟さでした。当時の私は何事も「一人でやるしかない」と自分を追い込んでいたことがありました。その余裕のなさ

で実習生に自分の価値観等を押し付けるような指導をしていたかもしれません。いっぽう今回は、部署の上司・先輩方や他部署の理解・協力もいただいて幅広い内容の実習プログラムが実現しました。私自身も心身に余裕を持つて臨むことができました。実習生も、さまざまな場面で多くの気づき・学びを得ることができた笑顔で話してくれました。

実習指導は私自身にも実り豊かな時間となりました。これまでさまざまな人の支えや見守りの下で学び、今に至っていることに改めて感謝の思いです。専門職にとって、後進の育成は大切な業務の一つであり、普段の支援を新たな視点で振り返る機会でもあります。これからも専門職として研鑽を続け、実践に活かしていきます。

支援センター「にしじん」

引越〜今までありがとうございました。
これからよろしく願います。〜

センター長 宇川 征宏

何年前のことだろうか？事務所の上の公団に住む方（脳性麻痺・ボランテニア活動含む二十四時間の支援あり）から呼び出され、「この耐震が弱いから取り壊しになる。引越し先を探して欲しい。」と依頼された。そのことを公団に相談すると、「ここはまだ大丈夫だから。他の公団の話。」と言われたので、その方には同様の返事をし、少しでも安心して頂いた。

その方が他界されてから、十年経つ。支援センター『にしじん』は、六月末に引越しをした。

二〇〇六年に京都市の委託事業を受け、最初は法人内の部屋を間借りし、その後、十九年間【堀川今出川】の地で、三障害対応型の相談支援事業を行った。立地がとても良く、部屋も

広かったので、希望者が多く、借りる際には、沢山の方のご協力を頂いた。開所当初は、「相談は時間がかかるから、新しく出来た（ここ）には、相談に来る人はいないと思う。」「精神保健福祉士ではない、人には相談出来ない。」「（修学旅行生から）支援センター『にしじん』がある。なんで、にしじん？」

いろいろなことを言われた。ただ、私達はこの場所での沢山の出会いや経験をさせて頂いた。長期入院から退院される方、生まれつき大病をされた方、家族や周囲の方との関わりが難しい方、家族



にしじん外観

が急に亡くなられた方等等。事業を開始すると様々な相談があった。相談支援の経験が浅く、発想が乏しい私達は、日々悩んでいた。そのような私達を多くの仲間達が助けてくれた。部屋を無償で貸してくれた。大掃除は算定出来ない職員

を全員だしてくれたり、夜間や早朝の支援を喜んで受

けてくれたり等等。私達の「助けて欲しい。」をサポートしてもらい、なんとか、やっていくことができた。ただ、事務所を構えていた場所（地域）には、何もできなかったのではないか：という思いもある。

ここ数年間、そろそろ

引越しをしないとけない：と思いつつも、なかなかいい物件と巡り会えなかった。家賃や広さや立地。前の場所が良すぎて、ついつい比較してしまう。物件の優先順位を決めてはいたものの【良い物件】は高かった。そんな中、スタッフから、「ここどうですか？」と提案され、直ぐ見に行き、「いいね。」となり、直ぐに決めることが出来た。前より広い、部屋数多い。家賃も変わらない。

い。もちろん、急な階段ある。少し不便になった場所。

車を止め難い。良くないこともあるが、素敵な商店街も近いし、今まで出来そうになかったことも新しい場所で出来るのではないか：と思っている。

私達の事業が上手いくということとは、相談者にとって、暮らし易い社会になることだと思っているが、なかなかそのようになっていない。今後まずは、目の前の暮らしの調整を日々丁寧に行い、足りないことや変えていく必要があることがあれば、変化させていく動きを続けたい。

悩んだ際には、事務所近くにあるとても美味しいお店で、美味しいものを飲み食いし、頭をリセットしたい。

ということで、支援センター『にしじん』は、七本松一条下るあたりに引越しました。天神さんの帰りだけではなく、近くにお越しの際には、是非、お立ち寄りください。屋上からは、【左大文字】がバッチリ見えます。

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

児童館のナツ・なつ・夏！

デイと学童のちやまぜ

流しそうめん

この夏、デイセンターふらつとと学童クラブ合同で流しそうめんを開催しました。学生ボランティア団体の「SAP」と「IVUSA」もお手伝いにてくれて会場は大賑わい。デイセンターの皆さんと学童の子どもたち、そしてボランティアさんや職員が「ちやまぜ」になって自然に交流ができて、同じ空間で夏の風物詩を楽しめました。みんなが夢中になってそうめんをほおばっている姿は最高でした。

夏休みのおやつタイムも

特別なイベントに！

夏休みのおやつ時間は、ただ食べるだけじゃない！今年はサロンを借りて、ワクワクするイベントを二つ開催しました。

通して、また一つ大きく成長してくれたように感じます。来年も、子どもたちがワクワクするような企画を子どもたちと一緒に考えていきたいですね！

(柴田祥子)

目指せーワールドレコード！

この夏休みには、児童健全育成推進財団と「ギネス世界記録」のコラボ企画として、「フライ返しを使っ



ただ今挑戦中!!

ということもあり、京信さんとの下見や打ち合わせを重ね、職員は前日からドキドキ。

当日には、約一か月ぶりの再会となるご家族

気も感じられました。

結果は惜しくも公式記録ランキングには届きませんでしたが、仲間とともに工夫を重ねる過程そのものを楽しみ、大きな笑顔と達成感を得ることができました。子どもたちにとって、夏休みの忘れられない一日となったことでしょう。

(坂本隼哉)

子育て支援イベント

つながりあって「夏祭り！」

今年度は京都信用金庫の二階のコミュニティスペースをお借りして開催しました。今回は児童館だけではなく、服の譲渡会や、地域の民生委員さん、学童の学生アルバイトさんにもご協力いただきました。児童館から外へ飛び出して、地域に開かれた場所での試み

や赤ちゃんも多く、甚平姿で参加してくれた赤ちゃんも。会場は一気に夏祭りの雰囲気に包まれました。歌に合わせたおみこしやパラボールンでは、みんなが一体となり、笑顔あふれる素敵な空間に。二十組ものご家族が遊びに来てくださり、大盛況のうちに終わることが出来ました。

今回のイベントは、多くの方々のご協力で実現することが出来ました。このご縁を大切に今後もみなさんと、さらに新しい方々とながらながら、来場のみなさんに楽しんでいただけるように、そして職員もお手伝いのみなさんも楽しめるイベントを一緒につくっていきます。

(上川美優)

活動日誌

【本部・京都市民福祉センター】

7月

1日 新任職員研修（中山理事）
3日 上京MOW
5日 職員交流会
7日 レクリエーション委員会
9日 龍谷大学福祉就職フェア
11日 新任職員研修（尾上社労士）
14日 月曜集会
15日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
18日 リクルート委員会
22日 新任職員研修（マーサ理事）
25日 福祉のお仕事相談会
28日 産業医面談
29日 安全衛生委員会
4日 京都精華大インターン3名受入（～9日まで）
6日 建て替えに向けてのPOE調査（利用観察調査）（～9日まで）
18日 「フクシ職場体験&キャリア」学生5名受入（～29日まで）
19日 秋フェス実行委員会
23日 元四丁目地蔵盆・足洗産業医面談
25日 安全衛生委員会

9月

29日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会 KATARIBA食堂 上京の朝カフェ
5日 秋フェス実行委員会
8日 月曜集会
16日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
19日 リクルート委員会
22日 虐待防止マネージャー会議
26日 産業医面談
秋フェス実行委員会
上京の朝カフェ

【居宅サービス係】

7月

3日 居連協事務局会議
13日 居宅職員会議
14日 居連協要望書提出
18日 サ責会議

8月

8日 ガイドヘルパー養成講座（講義一日目）
9日 ガイドヘルパー養成講座（講義二日目）
10日 居宅職員会議
10日 ガイドヘルパー養成講座（演習）（～23日）
29日 サ責会議

9月

14日 居宅職員会議
21日 ガイドヘルパー養成講座閉講式
26日 サ責会議

【デイセンターふらっと】

7月

4日 北総合支援学校から

8月

7日 実習生
西総合支援学校から
見学者
ユニットリーダー会議
海水浴
小松原地蔵盆打ち合わせ
ファシリテーション
研修
13日 流しそうめん
ユニットリーダー会議
生連協行政懇談会
22日 小松原・西亀屋地蔵盆
24日 会話力研修
25日 強度行動障害支援者
26日 養成研修

9月

6日 デイ職員会議
8日 マナー研修
9日 オアシヤンス号贈呈式
15日 ユニットリーダー会議
29日 サービス管理責任者
30日 サービス管理責任者
研修

【西陣児童館】

7月

12日 あすにこ食堂in西陣
児童館（コラボ食堂）
19日 小学校夏季休暇期間
（～25日まで）
26日 出前児童館（館内水
遊び）
31日 上京消防署の協力に
よる避難訓練

8月

5日 京都府警による防犯
講習
7日 ケアサポートセンター
千本今出川夏祭り
ギネス世界記録に挑

9月

13日 戦（学童クラブ）
デイと学童クラブの
流しそうめん
28日 西陣児童館夏祭りin京
都信用金庫西陣支店

9月

9日 嘉楽中学の生徒と乳
幼児さんの出合い
（バレーボール）
27日 出前児童館（かき氷
屋さん）

【きらりんく】

7月

4日 北部自立支援協議会
運営会議
23日 基幹センター会議
24日 北部自立支援協議会
夜のNOOD交流会

8月

18日 障害者虐待防止に係
る窓口職員向け研修
19日 基幹型支援センター
研修事業北部圏域相
談支援事業所座談会
26日 障害者虐待防止に係
る窓口職員向け研修
27日 基幹支援センター事
業権利擁護連絡会

9月

3日 北部自立支援協議会
地域懇談会
8日 北部自立支援協議会
児童養護自立支援連
絡会
20日 北総合支援学校PTA
主催「集まれ！事業所
フェア2025」
22日 北区こころのキャン
パスネットワーク実
務者会議
25日 障害支援区分審査会

【にっこり】

7月

2日 中部自立支援協議会
事務局会議
7日 基幹支援センター会議
10日 中部医療的ケア専門
部会
11日 進路に関する意見交
換会
31日 下京区子ども家庭支
援ネットワーク会議

8月

7日 中部医療的ケア専門
部会
20日 中部自立支援協議会
事務局会議
26日 相談支援専門員カフエ
虐待対応業務研修
地域課題研究会

9月

11日 中部医療的ケア専門
部会
15日 高次脳機能障害支援
者養成研修
16日 相談支援従事者現任
研修
24日 支えあいの会
基幹支援センター会議

※毎月、施設長会議・主任会
議を実施しています。
その他、諸事業諸活動におい
ても定例活動を行っておりま
す。

センター往来

福祉センター館長の中山が参加させていただきました。

◎7月5日(土) 遊戯室にて職員交流会を行いました。職員38名とその家族でさらリンク職員の箕浦さん手作りのアジアンやエスニックな料理とビールなどを味わいながら新入職員も含め楽しい時間を過ごしました。

◎8月4日～9日、京都精華大学のインターン3名を受け入れました。こどもたちや障害のある方たちとの触れ合いを通じて福祉業界を体験していただきました。

◎7月25日(金) ハートピア京都で開催された「福祉のお仕事相談会」に出展させていただきました。

◎8月18日～29日、京都府福祉人材サポートセンター事務局主催の「フクシ職場体験&キャリア」にて学生5名を受け入れました。

◎8月23日(土) 元四丁目町内会の地藏盆が行われ足洗に児童館・京都市民

◎8月29日(金)「KATARI BA食堂#5」の開催をいたしました。西陣会の



海へ出発ダー!! (デイセンター)



流しそうめん (児童館・デイセンター)

福祉車両「オーシャン号」を ご寄贈いただきました!

オーシャン貿易株式会社会長の米田多智夫様より、京都新聞社会福祉事業団を通して、オーシャン号と名付けられた福祉車両をご寄贈いただきました。デイセンターふらっとの送迎などで大切に使用させていただきます。



オーシャン号寄贈式

お祝い

○にしじん職員の唐井さんが7月7日に入籍されました。おめでとうございます!



今後の月曜集会の予定

10月6日・10月27日・11月10日・12月8日

(クリスマス会・メッセー
ジはメンセンディークマ
ーサさん)です。

・通常は19時から開催
しています。

・クリスマス会は18時半
からです。

・ご連絡の上、ぜひお越
し下さい。

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて (075) 451-5700 迄ご連絡下さい。

社会福祉法人西陣会

。法人本部

。京都市民福祉センター

。地域活動支援センター
ふらっと

。地域生活支援事業
レスパイトサービス

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。西陣児童館

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。西陣会居宅サービス係

。相談支援事業所きずな

。西陣会ホームとなり

。西陣会ホームきたまち

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。デイセンターふらっと
シヨートステイゆう

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。京都市中部障害者地域生活
支援センターにしじん

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。京都市北部障害者地域生活
支援センターきらリンク

TEL (075) 751-1066
FAX (075) 751-1067